



議会だより



令和3年6月定例会・臨時会

あらまし・議案審議	2
予算審査特別委員会	4
請願・陳情・委員会提出議案	5
臨時会・一般質問目次	6
一般質問 7人が登壇	7
委員会レポート	14
臨時会(主な質疑)	15
わたしたちの町(東中学校)	16

福島県 耶麻郡 猪苗代町 字城南 100 番地
<https://www.town.inawashiro.fukushima.jp/>

がんばれ4年生!
 翁島小学校大運動会



議会だより

マチイロのご利用は下の QR コードから



App Store



Google Play

新型コロナウイルス感染症対策強化へ補助!!

あらまし

令和3年第3回6月定例会は、6月2日から6月11日まで開催されました。

町長から提出された議案は、専決処分の報告2件、令和2年度繰越明許費に係る報告1件、出資法人等に係る経営状況報告5件、専決処分の承認4件、令和3年度補正予算3件、条例の一部改正1件、財産の取得3件、自動車物損事故による損害賠償及び和解1件、猪苗代地区財産区管理委員の選任に係る同意案件1件であり、すべての議案について原案のとおり、全会一致で承認・可決・同意しました。

また、委員会提出議案2件が提出され、全会一致で可決しました。一般質問は7人の議員が2日間にわたり行いました。

【審議した主な議案】

令和3年度猪苗代町一般会計補正予算(第1号)

社会保障・税番号制度システム改修等にかかる費用234万円、2地区のLED防犯灯整備に係るコミュニティ助成事業補助金に350万円、介護施設等の新型コロナウイルス感染症対策として生活空間等の区分けを行う環境整備支援に係る補助金に1750万円、子育て世帯生活支援特別給付金事業に119

0万円、福島県沖地震被災による一部損壊住宅修理支援事業に200万円、中の沢保育所休所に伴う603万6千円の減額、こども園費及び学校給食管理費委託料確定による請差を減額、福島県沖地震に伴う亀ヶ城公園施設災害復旧事業に係る工事請負費に900万円など、歳入歳出それぞれ2180万7千円を増額計上した。

※令和3年度補正予算にかかる主な質疑につ

いては、4ページの『予算審査特別委員会』をご覧ください。

猪苗代町国民健康保険条例の一部を改正する条例

税率の改正は、県からの納付金確定通知に基づき行われる。医療保険分と後期高齢者支援金は引き上げ、介護保険分は引き上げとなった。

主な質疑や改正点については下記のとおり。

【主な質疑】

令和2年度猪苗代町一般会計補正予算(第10号)

問 環境性能割交付金が4割減額となった要因は。

答 旧自動車取得税にかわり環境性能割交付金として制度が創設された。新制度のため予算計上の見込みが立てにくく減額計上となった。

問 特別交付税が1億2300万円ほど増額となっている。一億円以上の乖離が出た理由は。

答 交付税のため予算割れが生じないよう堅く計上した。

問 個人番号カード交付補助金はなぜ専決に上がったのか。

答 3月31日付の交付枚数をもとに実績報告を4月に提出するため専決とした。

財産の取得

問 タブレット端末充電保管庫の使用方法は。学校内での通信環境など授業で活用できるようになっているのか。

答 タブレット端末を完全に保管しながら充電し施設も可能。通信環境については、調査の結果、悪いところもあることから、2学期からはより良い環境で活用したい。

問 小型動力ポンプ積載型軽自動車取得の指名競争入札に関しては何か。

答 2社の応札による落札。競争性を考えれば2社では少ないのでは。特殊な車両のため限られた業者しか対応できないが競争性を保ちたい。

令和3年度猪苗代町一般会計予算(第1号)

【五十嵐ミエ子】賛成討論!

学校給食は学校教育の一環であって全ての子どもたちに安心して栄養バランスの取れた食事を提供されるよう教育環境整備に充実を求めて賛成。



タブレット端末充電保管庫

令和3年度の国民健康保険税率が決定

【参考】国民健康保険税率の比較

			令和3年度	令和2年度
	医療保険分	応能割	所得割	6.53%
応益割		均等割	24,100円	25,600円
		平等割	16,900円	19,000円
後期高齢者支援金分	応能割	所得割	2.38%	2.45%
	応益割	均等割	8,600円	8,600円
		平等割	6,000円	6,400円
介護保険分	応能割	所得割	3.20%	2.63%
	応益割	均等割	14,700円	11,300円
		平等割	7,300円	5,800円

【主な議案】
問 介護納付金課税額だけが増額となった要因は。
答 税率の改正にあたり、医療分・支援分・介護分それぞれ必要な財源確保のため増額となった。

【参考】一人当たり国民健康保険税額の比較

		令和3年度	令和2年度	令和2年度と令和3年度との比較	
医療保険分	応能割	33,115円	39,135円	△6,020円	
	応益割	所得割	18,830円	18,383円	447円
		平等割	7,318円	7,839円	△521円
後期高齢者支援金分	応能割	11,914円	13,163円	△1,249円	
	応益割	所得割	6,719円	6,168円	551円
		平等割	2,598円	2,638円	△40円
介護保険分	応能割	17,289円	16,719円	570円	
	応益割	所得割	12,175円	7,857円	4,318円
		平等割	4,949円	3,381円	1,568円
合計	応能割	62,318円	69,017円	△6,699円	
	応益割	所得割	37,724円	32,408円	5,316円
		平等割	14,865円	13,858円	1,007円
		114,907円	115,283円	△376円	

※金額は、合計額から割り返した試算額になるので、応益割額は実際の金額とは合わない。

猪苗代地区財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて

猪苗代町財産区管理委員に欠員が生じたため、新たな委員の選任について同意されました。任期は令和5年9月30日までです。

渡部 啓(ひらく)氏

議長を除く13人の委員で、令和3年度補正予算3件を審査した。

令和3年度 一般会計補正予算

【主な質疑】

一般会計

歳入

《国庫支出金》

問 子育て世帯生活支援特別給付金事業は具体的にどのような世帯が該当するのか。

答 令和3年3月31日時点で18歳未満の児童又は20歳未満の障がい児を養育する父母等で、令和3年度の住民税が非課税または令和3年1月1日以降の収入が急変し住民税非課税相当の収入となっている方に対し、児童一人当たり5万円を給付するもの。

《財産収入》

問 町地域福祉交流センターの土地貸付とは。

答 県スキー連盟と漁業組合の、敷地内へのプレハブ仮置き貸付によるもの。

歳出

《民生費》

問 子育て世帯生活支援特別給付金の対象世帯は何世帯ほどあるのか。

答 対象となる世帯（住民税非課税世帯と収入が急変した世帯）の実態は町で把握しているのか。

問 国の計算方法によると児童数にして204名の見込み。

答 令和2年度の児童手当支給実数によると約20名（世帯）の見込みであるが支給対象漏れがないよう多めに見込んでいます。

問 地域医療介護総合確保基金事業とは。

答 事業の対象は、介護老人福祉施設、介護老人保健施設など、宿泊を伴う

介護施設の生活空間等の区分け、導線切り離し、水回り設置等を行う整備支援の補助。

《農林水産業費》

問 農業振興費で883万円の減額は具体的にどのような理由か。

答 令和3年3月補正で繰越をしているが、補助率の有利な「担い手確保経営強化支援事業補助金」を活用し事業を実施することとなったため。

《土木費》

問 道の駅管理事業費で職員準公用車というのは。

答 道の駅には公用車がなかったため職員が自家用車を、承認を受け公用車扱いとするもの。

問 地震で被災した住宅修繕費の一部を補助する補助金とは。

答 本年2月の福島県沖地震による被災住宅に対する修理支援事業。個人の住宅11件の被害調査を实

施し、20件程度の見込みで予算を計上。

《教育費》

問 中の沢保育所休所に至る経緯と、施設維持のための経費は。

答 令和2年度まで利用していた児童が今年度からこども園に通いたいとの希望で休所となった。施設管理の防犯関係や電気料の一部については残る。

問 デジタル教科書購入は。教師用指導書として授業で使用するもの。4年に1回の教科書改訂が行われた中学校のみの導入となる。

問 学校給食費の減額の要因は。

答 千里小及び吾妻共同調理場の給食調理業務委託について、実績等をもとに設計、入札を執行した結果、請差が生じた。

翁島財産区特別会計

歳出

問 財産区内の立木が倒れ支援学校のフェンスが破損したが、相手方が修繕したものを損害賠償し、議会の議決をするのが通常ではないか。

答 相手方の申し出によるものであったが、地方自治法に基づく議決案件が原則になる。今後十分注意して事務執行にあたる。

あなたの声を審議しました

6月定例会で審議された「**請願・陳情**」の結果は次のとおりです。

区分	件名		紹介議員氏名	付託委員会	審議結果
	請願者・陳情者の氏名				
請願第1号	「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と、被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める請願書 福島県教職員組合 中央執行委員長 國分 俊樹 福島県教職員組合 北会支部 支部長 横山 謙治		鈴木 元	文教厚生	採択
陳情第1号	亀ヶ城の釣り鐘を衝くことについて 山内 功			経済建設	継続審査

議会運営委員会 提出議案

猪苗代町議会会議規則の一部を改正する規則

【提案理由】

議員活動と家庭生活との両立支援策をはじめ、男女の議員が活動しやすい環境整備の一環として、出産、育児、介護など議員として活動するに当たっての諸要因に配慮するため、議会への欠席事由を整備するとともに、母性保護の観点から出産に係る欠席期間を規定するものである。

また、請願者の利便性の向上を図るため、請願者に一律求めている押印の義務付けを見直し、署名又は記名押印に改めるため、猪苗代町議会会議規則の改正を提案する。

賛成全員 可決

【改正の概要】

- 1 会議の欠席事由について、現行の「事故」をより具体的な例示をあげ（公務、傷病、出産、育児、看護、介護、配偶者の出産補助その他）「やむを得ない事由」に改める。
- 2 出産による欠席の届出について、産前産後の欠席期間（出産予定日の六週間（多胎妊娠の場合にあつては、十四週間）前の日から当該出産の日後八週間を経過する日までの範囲内において）を規定。
- 3 議会への請願手続きについて、請願者に一律に求めている押印の義務付けを見直し、署名又は記名押印に改める。

文教厚生委員会 提出議案

国の「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書

【提案理由】

東日本大震災によって経済的に困窮している家庭の子どもたちの就学・修学を保障するため、令和4年度においても全額国庫で支援する「被災児童生徒就学支援等事業」の継続と、十分な就学支援に必要な予算確保を行うこと。

【提出先】復興大臣、文部科学大臣、総務大臣、財務大臣

賛成全員 可決

臨時会 (6月30日)

あらまし

令和3年第4回臨時会が6月30日開催されました。
町長から提出された議案は令和3年度補正予算1件で、原案のとおり、全会一致で可決しました。

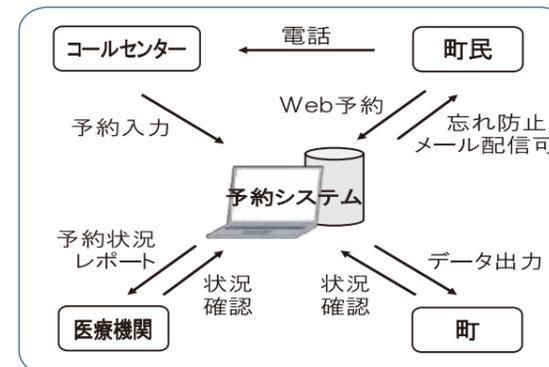
【主な審議内容】

○令和3年度補正予算(第2号)

新型コロナウイルスワクチン接種に伴う町内医療機関の予約受付業務負担軽減と町民の利便性を図り、予防接種の早期完了を実現するため、予約受付に係るコールセンターの設置経費のための予算を計上。「新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業国庫補助金」(10/10補助)を活用し、歳入歳出それぞれ3665万1千円を追加する。

※主な答弁については15ページをご覧ください。

○新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター・Web予約の概要



【町民のメリット】

- ・24時間、スマートフォンやパソコンからWeb予約が可能
- ・「電話が繋がらない」といった不満を解消

【医療機関におけるメリット】

- ・電話予約受付業務が解消
- ・予約状況レポートにより接種を実施
- ・管理画面から予約状況の確認やキャンセル対応等が可能

【町におけるメリット】

- ・予約管理自動化によるスムーズな受付の実施
- ・予約スムーズ化による接種の加速化
- ・予約情報の一元管理(データ出力等)が可能

お悔やみ

令和3年4月25日、二瓶隆雄 議員がご逝去されました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

一般質問 町政を問う

〇〇〇 主な質問事項 〇〇〇

瀧田 勝昭 議員
ゴミ減量への取り組み

五十嵐 ミエ子 議員
コロナ禍でのウイルス感染症対策

星野 あけみ 議員
交通安全

渡部 一登 議員
ホストタウン事業の取り組み

鈴木 元 議員
猪苗代まち・ひと・しごと創生人口ビジョン

佐瀬 真 議員
花の町猪苗代

大高 佐代美 議員
障がい者計画

一般質問とは？

議員が町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点をたずねること。
本町の質問時間は、答弁を含め60分以内で1問1答方式である。

町のホームページでは、一般質問の録画映像を配信しています。
※この映像は猪苗代町議会の公式記録ではありません。

Q. 高齢化でのごみ問題の取り組みは A. 福祉介護と連携し、様々な対応が必要

【質問】福島県はごみ減量が進まず、県民1人1日

当たりの排出量が全国ワースト2位、リサイクル率もワースト2位と報道された、町の現状は。

【町民生活課長】猪苗代町の1人当たりごみの排出量は、1230グラムで、56市町村のうち52位である。リサイクル率は12位である。

【質問】プラスチックごみのリサイクル推進のために、収集方法、回数、考え方は。

【町民生活課長】プラスチック資源循環促進法で、令和4年4月から家庭系ごみのプラスチック資源の一括回収を市町村の努力義務となり、未回収のおもちゃやハンガーなどの硬質プラスチックも、分別収集を行うことになる。次年度は、プラスチックの回収日を増加したい。



プラスチック製容器包装の日に収集されないゴミ(プラスチック製品)

【質問】ごみの減量化について町の考えは。

【町民生活課長】今後一般廃棄物処理計画及び分別収集計画の見直しで、ごみの減量化につながるか検討し推進していきたい。

【質問】リサイクルの取り組みも、計画の見直し等を行うのか。

【町民生活課長】3R(リデュース、リユース、リサイクル)は、計画見直しの際に、ごみ減量化を進めていきたい。

Q. 入札過程、予定価格の積極的な町民への公表は A. 前向きに検討してまいりたい

【質問】近隣自治体で、入札妨害や官製談合の報道がなされている。入札制度等についての改善は。

【企画財務課長】入札契約の現状は、指名競争入札を基本とし、平成28年3月との大きな変更点はない。

【質問】町民のために公共工事を行っている現在の公表は。

【企画財務課長】指名業者名簿と結果一覧を企画財務課で閲覧している。

【質問】他の自治体が行っている一般競争入札原則よりも指名競争入札が有効な理由は。

【企画財務課長】制限付き一般競争入札の導入は、当時、工事費内訳書の審査の問題、入札参加者の資格要件の整理、地元企業育成の観点、また町職員の事務量増加も予想されることなどから実施にはいたっていない。

【質問】入札契約の法律が示している内容について町は対応できないことを国県に相談したこと

【企画財務課長】ここ数年そのような事例はない。



瀧田 勝昭



五十嵐 ミエ子

Q. コロナ禍でのウイルス感染症対策は
A. 一日でも早くワクチン接種をしていただく

【質問】コロナ禍における町民の生活を守るための支援策は。

【保健福祉課長】保健衛生面の支援策としては、現在はワクチン接種を開始している。発症の予防、そのほか感染のリスクの低減につなげていただけるよう、町内各医療機関のご協力をいただきながら、取り組んでいる。

【質問】町内の高齢者の2回接種は7月下旬まで完了できるのか。

【保健福祉課長】6月上旬、町医師団との協議を行い、7月末完了の目途が立ったところである。

【質問】8月以降の接種計画は。



ワクチン接種会場

【質問】コロナ禍における町民の生活を守るための支援策は。

【保健福祉課長】現在は、国や県から医療機関への補償、補助金が手厚くなっている。

Q. 会計年度任用職員制度の見直しは
A. 令和2年4月からの適用が開始された国の制度であり、町としてはそれらに沿って対応していく

【質問】会計年度任用職員制度の任用については。

【総務課長】期間については、1年の雇用となり、その後3年間までは継続して雇用できる制度になっている。

【質問】どのような職種であっても継続的な雇用とすべきでは。

【総務課長】町としては任用するにあたり基本的には継続して雇用していきたいという考えである。

【質問】会計年度任用職員制度は。

【総務課長】以前から嘱託員や臨時職員として雇用していた方も会計年度任用職員として雇用している。

移行する際に各課において任用する業務内容の再精査を行い人数及び業務について必要最低限の勤務時間を算出するなどの見直しを行っている。

国の指針に沿って正規職員と同様の勤務が必要な場合はフルタイムとし、それ以外については業務における必要最低限度の勤務時間を設定し、パートタイムとして任用している。

Q. 結婚新生活支援事業の周知は
A. 広報いなわしろや町ホームページに掲載

【質問】若い方への周知は。

【保健福祉課長】新生活スタートに係る費用の支援については、婚姻届提出時に窓口でチラシを配布しお知らせしている。また、この事業は令和3年1月1日以降婚姻された方も対象となるため個別に案内していく。

【質問】奨学金の返済負担を軽減するため返還支援の考えは。

【教育総務課長】進学や災害、疾病等により返還が困難であれば願い出により返還猶予できる。

【質問】給付型奨学金とする考えは。

【教育総務課長】現時点では考えていない。

Q. 総合防災訓練の実施は
A. 9月19日千里地区で予定している

【質問】防災備蓄品に生理用品・液体ミルク・紙おむつを追加すべきでは。

【総務課長】備蓄品の充実化につとめたい。

【質問】要支援者名簿の更新は。

【保健福祉課長】毎年6月に更新している。民生児童委員の訪問調査により実態把握している。



星野 あけみ

Q. 地域からの声をどのように受け止め取り組んでいるのか
A. 現地確認のうえ危険性や重要度が高い場所を整備対応



通学路の歩道整備を

【質問】春の交通安全運動の取組での日誌等による地域からの要望は。

【総務課長】ここ5年間で125件の要望等が寄せられた。「道路の区画線が消えている」「横断歩道の旗がない」等、その都度現場を確認して対応している。

【質問】ひまわりこども園周辺の歩道整備の考えは。

【建設課長】都市計画道路のため、道路整備に併せて検討したい。

【質問】通学路となっている千代田歩道橋は経年劣化により、塗装がはがれ錆ついている。撤去の考えは。

【建設課長】建設より50年が経過し老朽化している。撤去するには交差点改良工事が必要となるため困難である。将来的には都市計画道路事業として協議検討したい。

【質問】高齢者安全運転装置設置促進のための支援の考えは。

【総務課長】町では、国のサポートカー補助事業の周知や町の運転免許証返納事業の利用を提唱し、高齢者の交通事故減少につなげたい。



渡部 一登

Q. オリンピック開催後のガーナ選手との交流は
A. 開催後に陸上選手と子どもたちの交流を予定している

【質問】ホストタウン事業で予定される選手団の人数や合宿での対応は。
【生涯学習課長】7月上旬から5競技、約30名のオリンピック選手・関係者、8月上旬には3種目、3競技約20名のパリンピックの選手・関係者が事前合宿を実施し、合宿期間の移動や宿泊先でも一般の方と分けるような対応になる。
【質問】オリンピック後のホストタウン事業の取組は。
【生涯学習課長】ガーナの子どもたちと町内小学校の児童による交流や、ガーナ料理教室の継続や、記念切手の制作を予定している。



「ガーナ共和国」の国旗

【質問】墓地の新設は。
【町民生活課長】墓地、埋葬等に関する法律に基づき県の許可が必要。新設は、設置者が市町村・宗教法人・公益法人が認められており、個人での新規設置は認められていない。
【質問】各地区で墓地の状況や空き状況の把握は。
【町民生活課長】墓地台帳では、町内の墓地数は行政区共有が140件、寺院所有が7件、その他個人等所有が18件ある。現在の墓地の空き状況については現在把握していないので、各墓地の管理者に照会しながら台帳の整備を進めてまいりたい。

Q. 事業所への感染対策費補助金の追加支援は
A. 関係団体と調査し対応を検討したい

【質問】これからの経済支援策と経済効果は。
【商工観光課長】町民応援商品券交付事業（全町民へ5,000円の商品券）・町内宿泊施設利用助成事業（町内宿泊金額の50%の助成）・飲食店応援プレミアム付きチケット事業があり、3事業の合計で2億円以上の経済効果を見込んでいる。
【質問】アフターコロナへ向けた企業支援の取組としての、国や県の支援策に対する申請で、申請代行会社等への手付金や成功報酬額の一部補てん等は。
【商工観光課長】商工会や観光協会とともに連携してサポートできないか検討したい。



スタートした宿泊施設利用助成事業



鈴木 元

Q. 国や県と比較した合計特殊出生率(※1)は
A. 猪苗代町 1.47、全国平均 1.42、県平均 1.53

【質問】過去と比較した出生数の現況は。
【企画財務課長】十年前の平成23年が1111人。令和元年が62人。令和2年が52人と、ここ2年間は大幅減少している。
【質問】平成26年に示された人口ビジョンの推計値・目標値に対する現況は。
【企画財務課長】令和2年9月現在の人口は1万3524人。推計値に対し178人減、目標値に対し243人減となっている。
【質問】まち・ひと・しごと創生会議において、出生数減少や人口減少抑制についての議論は。
【企画財務課長】六つの重点プロジェクトを設け進捗の管理、施策事業の検証を行っている。人口ビジョンや総合戦略事業に対する評価・提案をいただき進めている。



景観・保安・生活環境への影響は

【質問】人口減少による財政的な影響は。
【企画財務課長】生産年齢人口の減少により所得が減少し、住民税等の減少につながる。地方交付税においても算定基準に人口が考慮されるので、基準財政需要額に影響するものと考えている。
【質問】将来的な財政見通しは。
【企画財務課長】今後5年間の財政予測を立て、財政の健全化に努めている。

Q. 町内の空き家の件数は
A. 平成28年の空き家実態調査で440件

【質問】空き家の損耗具合によるランク付けは。
【総務課長】ランク付けは行っていないが、外観等からの物件調査は行っている。
【質問】平成27年に空き家対策特別措置法(※2)が施行されているが、法に則した助言・指導は。
【総務課長】法に則した助言・指導を行った実績はないが、状況改善に努めていただくよう話している。
【質問】移住定住促進事業を含め、人口減少抑制事業は多岐にわたり裾野が広い事業である。将来ビジョンをもって各課が横断的に取り組む必要があるのでは。
【商工観光課長】裾野の広い事業の施策が求められ喫緊の課題と捉えている。各課、横断的に取り組んでいきたい。

【※1】合計特殊出生率とは…女子の年齢別出生率を合計したもので、人口動態の出生の傾向をみる時の主要な指標。数値は平成30年の指標。
【※2】空き家対策特別措置法とは…管理が適切に行われていないと思われる空き家に対し自治体が調査したのち、問題があると判断された空き家については『特定空き家』に指定し、所有者に助言・指導・勧告・命令ができる法。



佐瀬 真

Q. 樹木医として、地域おこし協力隊の公募は
A. 必要に応じ、県から紹介してもらっているので
考えていない

【質問】約一か月の間咲き誇る当町の桜の特性をアピールし、県内の桜観光の宿泊地としてのプランは。

【質問】「桜の里づくり」事業の現在は。
【農林課長】大規模な苗木の配布は終了しているが、民間企業からの寄付を受ける形で植樹を実施。現在、町全体で7465本が植樹されている。

【質問】琵琶沢原森林公園に企業から寄贈された千本の桜が人知れず咲いているが、これからのプランは。
【農林課長】ベンチや見晴台、遊歩道を整備して、公園と一体化した利用を図りたい。

【質問】琵琶沢原森林公園の桜を苗木として、100〜200本単位で移植し、新しい桜の名所をつくる考えは。
【農林課長】町の特定の場所に植樹する予定はない。北塩原村のラビスパのように町営牧場の一角への移植は。



人知れず咲く桜たち。琵琶沢原森林公園

【農林課長】採草地なので機械が入れないなどの支障が出ることから適地ではないと考える。

【質問】ガーナからのホストタウン受け入れ選手のスケジュールは。
【生涯学習課長】オリンピック選手は7月上旬から3週間ほど、パラリンピック選手は8月上旬から3週間ほど滞在する予定。

【質問】コロナ対策は、入国後4日は宿泊所内での隔離、毎日の抗原検査が義務付けられる。
【質問】コロナ対策後の町の方々との交流は。
【生涯学習課長】滞在14日間後から小学生との陸上関係やガーナ風料理の給食での交流を考えている。



Wi-Fi導入で訪日外国人の集客力向上

【質問】インバウンド対策として観光庁が勧めている免税店の設置への考えは。
【質問】インバウンド対策として観光庁が勧めている免税店の設置への考えは。

【質問】インバウンド対策として観光庁が勧めている免税店の設置への考えは。
【農林課長】観光への強みは何かを模索する中で独自性が必要であり、アウトドア的なコンテンツも強みと考えている。傾向をリサーチして考えていく。

【質問】インバウンド対策として観光庁が勧めている免税店の設置への考えは。
【農林課長】観光への強みは何かを模索する中で独自性が必要であり、アウトドア的なコンテンツも強みと考えている。傾向をリサーチして考えていく。

Q. Wi-Fi環境設置への補助は
A. 環境整備を広域的に連携しながら検討していく



大高 佐代美

Q. 障がい者アンケートが通し番号になっている理由は
A. 個々のサービス向上に反映させるため

【質問】第3期障がい者計画の中のアンケートは、いつから何回行われたのか。
【保健福祉課長】平成29年度から一回実施した。

【質問】アンケート形式が通し番号になっている理由は。
【保健福祉課長】目的は、令和3年度からの各種サービスの見込み量と方策を策定するにあたり、個々のニーズを正確に把握するため。また、障がいの種類や年齢によって利用できるサービスが異なり、内容と希望に誤りがないか確認するため。

【質問】障がい者と町民が共に生きる事のできる社会とは。
【保健福祉課長】障がいの有無にかかわらず、誰もが住み慣れた地域で安全で安心して生活し、共に支えあって暮らす共生社会である。



町内にある県立支援学校

【質問】広報に県立支援学校の掲載が少ないのでは。
【総務課長】情報を頂ければ、取材をして掲載する。

【質問】各学校への取材は。
【総務課長】ケースバイケースで対応している。
【質問】支援学校卒業後の就業先の状況は。
【保健福祉課長】3月時点で郡山のA型事業所へ2名、町内のB型事業所へ6名、他に会津若松、西会津となっている。

【質問】支援学校卒業後の就業先の状況は。
【保健福祉課長】3月時点で郡山のA型事業所へ2名、町内のB型事業所へ6名、他に会津若松、西会津となっている。

Q. コロナ禍の中で出生率の状況は
A. 5月27日現在で5件の妊娠届である

【質問】コロナ禍の中での出生率が低くなり、その対応として母子健康の施策は。
【保健福祉課長】安心した子育てのために、出産手当の増額や各種相談支援を行っている。風疹ワクチン接種及び抗体検査、コロナ禍にあつては、PCR検査の周知をしていく。

【質問】今回の出産手当の増額は、出産をためらっている人への後押しとなっているか。
【保健福祉課長】子育てにかかる費用負担の軽減のために第二子以降増額した。今後も、産みやすい環境整備と支援に努めていく。

委員会レポート

まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組/ふるさと納税の進捗状況

【概要】

まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組については、猪苗代町では国の指針に基づき、平成28年2月に猪苗代町まち・ひと・しごと創生人口ビジョンの第1期総合戦略を策定し、現在は第2期目の事業を進めている。

道の駅展開プロジェクト、人材育成など6つの重点プロジェクトについて目標値を決めて様々な事業展開を計画しており、第1期の目標達成について評価を行い、第2期についても引き続き重要な事業に取り組みることとなった。現在は国から予算が来ていないが、各課が単独事業や補助事業、サポート事業を活用して事業を実施している。

総務常任委員会

ふるさと納税の進捗状況については、ホームページを分かりやすく改善しているが、寄付金額は元年度とほぼ同額となった。また、返礼品については、魅力ある返礼品に順次変えていく。



地域の特色ある返礼品

【意見】

総合戦略のなかには様々なメニューがあり、有利なものを活用しながら事業を進める必要があると考える。特に企業版ふるさと納税など行政だけではできない事業について検討をされたい。

ふるさと納税については、他市町村で寄付額を大幅に増やしてきており、行政全体で知恵を絞って工夫すればもっと増やせる余地がある。更に、寄付金が何に使われたのかを公表していただきたい。

町内小中学校のオンライン授業

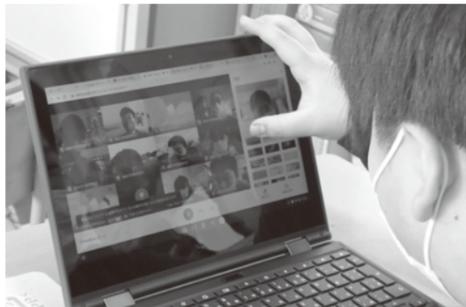
【調査内容】

令和2年度、中学校全生徒分および小学校4・5・6年児童分のタブレット端末を購入、全端末にフィルタリングを設定している。また、オンライン授業支援業務委託契約を締結、各小中学校の児童生徒教職員に対し、オンライン授業やタブレット操作方法の研修等を行った。今後は、端末を使用した学力向上を目指す。

現状としては全ての教職員による日常的な活用や、全児童生徒が一斉にICT機器を活用する台数の確保がされていないが、感染症等による臨時休校となった場合、学校と家庭の双方でのオンライン授業や学習用動画配信を行い、家庭での学びの機会を保障する計画としている。

文教厚生常任委員会

各校でのオンライン授業の研修風景としては、先生が一方的に音声で説明し、その後児童生徒が質問する場合は「チャット」で問いかけるという方法での双方向での授業であり、設定で全児童生徒



みんなの顔が見えるオンライン授業

【意見】

コロナ禍や自然災害などの非常時に向け、各家庭においてオンライン授業が活用できるような体制を整え、各家庭でのフィルタリングの課題や教職員のスキルアップの課題については、幅広く大学と連携をするなど早急に取り組んでほしい。

顔を分割で映し出すことも可能となっている。令和2年度は全教職員を対象とした学力向上推進事業ICT活用研修会を猪苗代中で実施しスキルアップを図った。

令和3年度の農業政策

【概要】

全国的な主食用米の消費量減少、更には新型コロナウイルス感染症の拡大による主食用米の急激な消費量の落ち込みなどを原因として、主食用米の過剰在庫による大幅な米価下落が想定されている。主な政策として、米の需要調整及び経営所得安定対策等で地域の裁量により販売を目的に生産された作物に対して、国から産地交付金があり、備蓄米・加工用米・飼料用米の取扱い面積が拡大したため、産地交付金枠が大幅な増加の見込みとなっている。

多面的機能支払交付金では、取組集落は55集落で農地維持支払金は6,500万円、地域資源の質的向上を図るものと施設の長寿命化のための活動として約1,600万円計上している。



J Aの米倉庫

出用米の更なる取組みを強化し、高品質化や高付加価値ある農作物の栽培をし、収益の向上に取り組んでいただきたい。また、農業者の高齢化や離農者、栽培面積の縮小する農家も多いことから、組織化・法人化、担い手や新規就農者の育成・確保など更なる支援・指導をお願いしたい。

経済建設常任委員会

【意見】

主食用米の消費量減少・過剰在庫や米余りによる米価下落が想定される。過剰在庫等に対応する新市場の開拓や輸

臨時会 (6月30日)

【主な質疑】

問 コールセンター・Web予約がなぜ今頃になったのか。いつまで設置するのか。

答 6月1日町医師団との協議において予約業務が長期的に増大し、接種業務や通院診療への影響のためコールセンター設置について強い要望があった。64歳以下についても11月中旬に接種を終えるよう国県の表明がされた。各医療機関での予約業務の負荷を軽減し、早期完了を実現するため、予約受付に係るコールセンターの設置に至った。コールセンター・Web予約は1月末までと考えている。

問 基礎疾患の取り扱い。7月2日まで自己申告しただき優先接種の順位となる。

答 コールセンターはどこに設置されるのか。また年内に全ての接種が完了するの

答 郡山市内に予定。電話予約業務については6名程度常駐で平日9時から17時、Web予約については24時間予約可能。基礎疾患を有する方、教育関係者を優先しその後64歳以下を年齢順に段階的に発送するが、ワクチン確保の関係で11月末

問 コールセンターはどの

答 郡山市内に予定。電話予約業務については6名程度常駐で平日9時から17時、Web予約については24時間予約可能。基礎疾患を有する方、教育関係者を優先しその後64歳以下を年齢順に段階的に発送するが、ワクチン確保の関係で11月末

問 コールセンターはどの

答 郡山市内に予定。電話予約業務については6名程度常駐で平日9時から17時、Web予約については24時間予約可能。基礎疾患を有する方、教育関係者を優先しその後64歳以下を年齢順に段階的に発送するが、ワクチン確保の関係で11月末

問 コールセンターはどの

答 郡山市内に予定。電話予約業務については6名程度常駐で平日9時から17時、Web予約については24時間予約可能。基礎疾患を有する方、教育関係者を優先しその後64歳以下を年齢順に段階的に発送するが、ワクチン確保の関係で11月末

ワクチン接種体制確保予算が可決

までの完了は遅れ込む可能性がある。いつからスタートするのか。また電話予約の通話料に利用者負担が生じるのか。

答 8月初旬からの予定。通話料はかからない。

問 このシステムは実績のあるシステムか。

答 伊達市・田村市のほか西日本での稼働率が高い。

問 Webの空き状況を見て予約するのか。

答 画面上から各医療機関の空き状況がわかり、都合が合えば予約を入れるシステム。

問 接種券は65歳以上と同様に年代で区切るのか。

答 基礎疾患優先以外、年齢順と考えているが、状況を見ながら検討したい。

問 町民への疑問点・スケジュール等、全体像の説明、周知が必要では。

答 広報等で周知する。コールセンター設置後も保健福祉課が相談窓口として対応する。

問 65歳以上で8月以降の予約はコールセンター予約か。

答 65歳以上及び基礎疾患を有する方は、ご自身で医療機関に予約することで医師団との協議が進んでいる。コールセンター予約はそれ以外の方となる。



ゆめ 夢さん(東中学校)
ぬのびき 布引



わたしたちの町

～わが故郷の誇り～



野口英世博士。
この名前を聞いてピンとこない人はいないのではないだろうか。
私は読書が好きで、小学生の頃には人物に関する伝記に熱中し、様々なことを学んだ。その頃の私は、ヘレン・ケラーやナイチンゲールなどの外国の偉人にしか興味がなかった。しかし、野口英世が猪苗代町出身ということだけは知っていたので、読んでみることにした。

私はとにかく感動した。不慮の事故で左手が不自由になり、さらにはいじめを受けていたにもかかわらず、めげずに勉学に励んでいた事実に感銘を受けた。私なら簡単に諦めていたと思う。
また、英世は治療してくれた先生にあこがれ、医師になった。その苦労は計り知れないが、海外に足を運んだり、病気の研究をしたりしたことが、現在の日本とガーナの友好関係につながっていることもすごいと思う。
苦境に立たされても、諦めず自分の思いを貫いた野口英世が生まれ育った猪苗代町、この町に今、私が暮らしていることをうれしく、誇りに思う。

ちびっこからベテランランナーまで人気の『町民健康マラソン大会』が6月27日、2年ぶりに開催されました。
懸命な走りに大きな拍手が運動公園に響きました。



今号の表紙

毎年行われていた運動会も、2年ぶりの開催です。当たり前の学校行事が、当たり前に行われる日が来ますように…



傍聴においで下さい

9月議会は 9月7日(火曜日) 開会予定です。

【一般質問予定日:13日(月)・14日(火)】

※質問者・質問内容については9月1日以降に町のホームページ(議会事務局)に掲載します。また各公共施設にチラシを掲示しますのでご覧ください。

掲示施設名

- ・役場町民ホール
- ・学びいな
- ・和みいな
- ・カメリーナ
- ・町立猪苗代病院
- ・老人福祉センター
- ・まちのえきまるしめ

編集後記

一昨年より流行がはじまった新型コロナウイルス感染症が全世界中で猛威を振るっており地域社会に様々な影響を与えていますので、どうしても新型コロナウイルス感染症関連の議案が多くなってまいります。当町においても感染者がいましたが、幸いにも大きな拡大には至っておりません▼地球温暖化の影響でしょうか暑い日が多くなっておりますが、もうしばらくはマスクを着けた生活となりますので、熱中症には気を付けてお過ごしください▼今後も試行錯誤しながらも地域社会の奉仕者としてより良い議会を目指して分かりやすい議会だよりづくりに取り組み、情報を発信してまいります。新型コロナウイルス感染症が早く収束することを願っております。

佐藤 悦夫

議会広報編集特別委員会

- 委員長 金本久美子
- 副委員長 星野あけみ
- 委員 鈴木 元
- 委員 大高佐代美
- 委員 佐藤 悦夫
- 委員 五十嵐ミエ子
- 議長 渡辺真一郎